

エコアクション21

環境経営レポート



発行日: 2024年10月24日
対象期間: 2023年7月～2024年6月

株式会社 KAKUDO

目 次

1. 組織の概要	1
2. 実施体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	5
6. 環境経営計画	6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	7
8. 代表者による全体の評価と見直しの結果	8
9. 活動の紹介(具体的な取組み状況)	9～12

1.組織の概要

①事業者名、代表者名など

株式会社KAKUDO

代表取締役 笠原 健彦

②所在地

本社・倉庫 〒877-0076 大分県日田市大字庄手803番地2
天瀬加工場 〒877-0111 大分県日田市天瀬町大字五馬市字山ノ下1990

③環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者 笠原 憲子
担当者 取締役
担当者 事務担当者
連絡先 電話 0973-28-7773
 FAX 0973-28-7775
 メール info@kakudo.ltd

④事業内容

・建設業

許可番号 大分県知事 許可(大分県知事 許可(般-5)第13604号
建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業
鋼構造物工事業、内装仕上工事業

・設計事務所

⑤事業規模

活動規模	単位	令和5年
工事件数	件	20
売上高	百万円	100
従業員数	人	9
床面積	m ²	95.75

⑥事業年度

7月～6月

⑦対象範囲(全事業活動・全組織)

・建設業

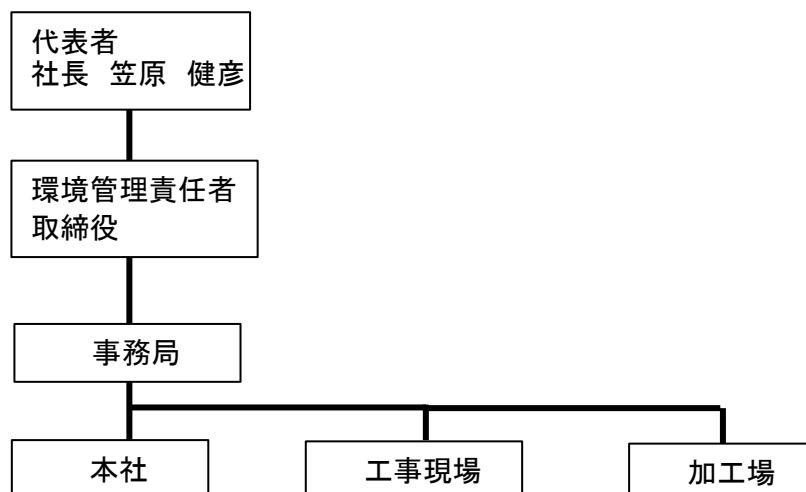
建築工事業、大工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業
鋼構造物工事業、内装仕上工事業、建築設計

・組織

本社・倉庫 、 天瀬加工場

2.実施体制

①EA21組織図



②EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・各部門の環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認と全体調整 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・環境経営レポートの作成 ・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換 ・自部門における環境活動及び環境経営計画の企画・作成・実施 ・自部門における環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

3.環境経営方針

■基本理念

1. 自然への感謝の気持ち
2. 先人への感謝の気持ち
3. 勿体ないの精神
4. 思いやりの精神

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。

セルロースファイバーの製造などの事業活動における環境負荷の低減や社会に貢献する製品の開発をめざし、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組みを進めてまいります。

■行動指針

1.具体的に次の事に取り組めます。

- ①電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)を推進する。
- ③水資源を大切にするため節水に努める。
- ④環境に配慮した工事を実施する。
- ⑤事業所周辺に清掃活動を推進する。

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営システムの継続的な改善を誓約します。

2.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守することを誓約します。

3.この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日：2023年6月12日

株式会社KAKUDO

代表取締役 笠原 健彦

4.環境経営目標

各年度の対象期間は、7月～翌年6月

環境経営方針の番号	選択課題	基準年度 (2022年度)	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量)	15,703 kg-CO2	15,545 基準年度比 △1%	15,388 基準年度比 △2%	15,231 基準年度比 △3%
1-1	電力消費量 (電気使用量)	12,849 kWh	12,721 基準年度比 △1%	12,592 基準年度比 △2%	12,464 基準年度比 △3%
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量)	2,934 ℓ	2,905 基準年度比 △1%	2,875 基準年度比 △2%	2,846 基準年度比 △3%
1-3	軽油消費量 (軽油使用量)	875 ℓ	866 基準年度比 △1%	858 基準年度比 △2%	849 基準年度比 △3%
1-4	灯油消費量 (使用量)	679 ℓ	672 基準年度比 △1%	665 基準年度比 △2%	659 基準年度比 △3%
2-1	一般廃棄物排出量	252 kg	249.48 基準年度比 △1%	246.96 基準年度比 △2%	244.44 基準年度比 △3%
2-2	産業廃棄物再資源化率 (建設廃棄物)	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
3	水使用量 (水使用量)	37 m³	36.63 基準年度比 △1%	36.26 基準年度比 △2%	35.89 基準年度比 △3%
4	環境に配慮した工事を 実施する。		環境経営計画に よる実行管理	環境経営計画に よる実行管理	環境経営計画に よる実行管理
5	社会貢献への参加		地域の清掃活動 やボランティア参加 2回	地域の清掃活動 やボランティア参加 2回	地域の清掃活動 やボランティア参加 2回

電力のCO2排出係数は、九州電力調整後係数 2020年の0.385kg-CO2/kWhを使用。

5.環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容

対象期間：2023年7月～2024年6月

評価基準：○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

環境経営方針番号	選択課題		基準年度 2022年度	23年度目標 基準年度比 △1%	23年度 実績	目標 達成率	評価
1	二酸化炭素排出量（CO2排出量）kg-CO2	7～9月	2,853	2,825	4,292	66%	×
		10～12月	3,191	3,159	3,817	83%	×
		1～3月	4,782	4,734	3,325	142%	○
		4～6月	3,743	3,706	2,891	128%	○
		計	14,570	14,425	14,325	101%	○
評価と 次年度の取組	評価：目標達成できた。軽トラックの買い替えでガソリン車になったため、軽油の利用がなくなったことが好転させた。 次年度の取組内容：各項目の活動を実施する。						
1-1	電力消費量（電気使用量）kWh	7～9月	3,862	3,823	3,760	102%	○
		10～12月	2,601	2,575	3,606	71%	×
		1～3月	3,835	3,797	2,763	137%	○
		4～6月	2,551	2,525	2,976	85%	×
		計	12,849	12,720	13,105	97%	△
評価と 次年度の取組	評価：目標は達成できなかったが、前年度に比べ、冬の事務所の電力使用量が減った。節電意識が向上しているようだ。 次年度の取組内容：計画は継続する。						
1-2	ガソリン消費量（ガソリン使用量）ℓ	7～9月	770	762	809	94%	△
		10～12月	564	558	757	74%	×
		1～3月	766	758	739	103%	○
		4～6月	835	827	709	117%	○
		計	2,935	2,905	3,014	96%	△
評価と 次年度の取組	評価：目標は未達成だったが、前年度に比べ、仕事量が增大しているのにも関わらず、1月～6月においては目標達成できている。アイドリングストップなど社員の意識が向上しているようだ。 次年度の取組内容：計画は継続する。社員の意識を向上する。						
1-3	軽油消費量（軽油使用量）ℓ	7～9月	277	274	375	73%	×
		10～12月	168	167	144	115%	○
		1～3月	111	110	0	100%	○
		4～6月	319	316	0	100%	○
		計	875	866	519	167%	○
評価と 次年度の取組	評価：目標は達成。発電機使用時のみ使用量が発生する。12月からは発電機の使用なし。 次年度の取組内容：計画は継続する。社員の意識を向上する。						
1-4	灯油消費量（灯油使用量）ℓ	7～9月	0	0	0	0%	○
		10～12月	180	178	120	149%	○
		1～3月	499	494	220	225%	○
		4～6月	0	0	40	0%	×
		計	679	672	380	177%	○
評価と 次年度の取組	評価：目標達成。暖冬だったため、ストーブ使用頻度が少なかった。 次年度の取組内容：計画は継続する。						
2-1	一般廃棄物排出量(kg)	7～9月	48	45	63	71%	×
		10～12月	63	62.37	63	99%	△
		1～3月	63	62.37	63	99%	△
		4～6月	63	62.37	63	99%	△
		計	237	232.11	252	92%	△
評価と 次年度の取組	評価：目標は未達成だが、社員の分別意識は向上している。 次年度の取組内容：計画は継続する。						
2-2	廃棄物再資源化率(%)	7～9月	100	100	100	100%	○
		10～12月	100	100	100	100%	○
		1～3月	100	100	100	100%	○
		4～6月	100	100	100	100%	○
		計	100	100	100	100%	○
評価と 次年度の取組	評価：目標は達成。社員の分別意識も向上している。 次年度の取組内容：計画は継続する。						
3	水使用量（水使用量）m	7～9月	6	5.94	7	99%	△
		10～12月	10	9.9	15	66%	×
		1～3月	14	13.86	18	77%	×
		4～6月	7	6.93	10	69%	×
		計	37	36.63	50	73%	×
評価と 次年度の取組	評価：目標達成できなかった。社員が増えたため、その分だけ使用量も増えたか。 次年度の取組内容：計画を継続していく。						
4	環境に配慮した工事の実施		実施する	実施した	100%	○	
評価と 次年度の取組	評価：目標は達成した。特に、騒音に注意を払った。 次年度の取組内容：計画を継続していく。						
5	社会貢献への参加		地域の清掃活動やボランティア参加1回	実施した	100%	○	
評価と 次年度の取組	評価：春に社員一同で献血活動を実施した。 次年度の取組内容：計画を継続していく。						

電力のCO2排出係数は、九州電力 2020年の調整後係数0.385を使用。

6.環境経営計画の評価

○:できた △:改善の余地あり ×:できなかった

環境経営方針の 番号		目標課題	具体的な行動(活動)	事務所	現場
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量削減	1. 冷暖房設定温度の適切な管理	○	○
			2. OA機器の退社時電源OFFする。	○	
			3. 空調機フィルターの清掃する。	○	
			4. 不必要箇所の照明を消す。	○	○
	1-2	ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。急加速急停車をしない。	○	○
			2. アイドリングストップする。	○	○
	1-3	軽油消費量削減	1. 発電機利用時以外はスイッチを切る		○
	1-4	灯油消費量削減	1. エアコンでまかなえる室温の場合はエアコンを使用	○	
2-1	一般廃棄物排出量削減		1. ゴミの分別を徹底する。	○	○
			2. リサイクル可能ゴミの確認とその周知を徹底する。	○	○
			3. コピー用紙の裏側使用の推進する。	○	
2-2	廃棄物再資源化率		1. ゴミの分別を徹底する。	○	○
			2. リサイクル可能ゴミの確認とその周知を徹底する。	○	○
			3. 再資源のための分別方法の工夫	○	○
			4. 委託先への処分方法の確認	○	
3	水使用量削減		1. 節水シールを貼り意識を喚起する。	×	×
			2. 洗いものはまとめてする。	○	
4	環境に配慮した工事を 実施する		1. 歩行者や自動車交通に配慮する		○
			2. 廃棄物分別・処理の徹底		○
			3. アイドリングストップする		○
			4. 断熱性の優れた材料の提案	○	
			5. 省エネ住宅の提案	○	
5	社会貢献への参加		1. 所属団体や公共機関のボランティアに参加する。	○	○
			2. 各現場1回以上のゴミ拾い活動	○	○

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。
また、指摘、訴訟、苦情等はありませんでした。

遵守評価日: 2024年12月3日

遵守評価者: 笠原健彦

	関係法令	チェック項目	チェック方法	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	1 産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト管理状況確認	○
		2 廃棄物委託契約書	契約書の内容確認	○
		3 保管場所表示、保管基準遵守	現場確認	○
		4 管理票の交付状況定期報告	年間報告提出の確認	○
		5 収集運搬車への表示およびマニフェスト携帯	現場確認	○
2	建設リサイクル法	1 対象工事に係る分別、再資源化の実施	現場確認	○
		2 対象工事の市町村長への届出、報告	届出書、報告書	○
3	騒音規制法	1 対象工事における騒音規制 (特定建設作業)	現場確認	○
4	振動規制法	1 対象工事における振動規制 (特定建設作業)	現場確認	○
5	資源有効利用促進法 (PCリサイクル法)	1 PC、周辺機器の適切廃棄	領収書	○
6	家電リサイクル法	1 リサイクル料支払い	リサイクル兼	○
		2 廃棄時の適正処置	領収書	○
7	自動車リサイクル法	1 リサイクル料支払い	リサイクル兼	○
		2 廃棄時の適正処置	領収書	○

8.代表者による全体の評価と見直しの結果

会社名	株式会社 KAKUDO
見直し実施日	2024年 10月 25日(金)
出席者	代表者 笠原健彦 事務局 小池 恵理子

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	特に問題はなかった	問題なし
2 環境経営目標の達成状況	水使用量が特に増えた	従業員が増えたためか。目標は継続する
3 環境経営計画の実施状況	特に問題はなかった	継続する
4 問題点の是正、予防の状況	水使用に関しては再度節水を心がけていく	問題なし
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情は1件もなかった	問題なし
6 環境上の緊急事態の訓練 結果及び対応結果	訓練を実施し、一部手順を見直した	問題なし
7 その他	特に報告事項はなかった	問題なし

見直しの必要性判断と代表者の指示	①環境経営方針	継続する
	②環境経営目標	継続する
	③環境経営計画	継続する
	④実施体制	継続する
	その他の指示	環境教育による周知徹底と社内のコミュニケーションの機会を増やし、実行面での成果に期待する

9.活動の紹介(具体的な取組状況)

①古紙の再利用(セルロースファイバー(断熱材)の生産)



※断熱材最強と言われるセルロースファイバーの7つのメリット※

1. 高い断熱効果により夏は涼しく冬は暖かい家を実現
2. 地球や人に優しいエコロジー資源である
3. 湿気を吸うので快適な温度をキープできる
4. 結露やカビを予防でき家が腐ることを防ぐ
5. シロアリやゴキブリといった害虫予防ができる
6. 高い防音性能で静かな家を実現できる
7. 高い防火性能で火事に強い

②施工事例

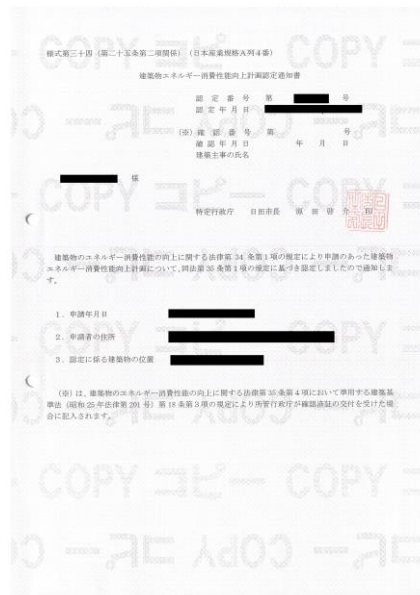
- (1) 「平屋×インナーガレージ」のスタイリッシュで機能性抜群なお家
インナーガレージ、約20帖の広々リビングを確保しながら広いWICを2ヶ所設置するなど、
スペースをフル活用し、快適に過ごせる工夫が詰まったお家です



- (2) 平屋のように暮らせる、モトーンで統一された二階建て住宅
夫婦の寝室を1階に配置し、将来的に平屋のような暮らしができるよう工夫されています。



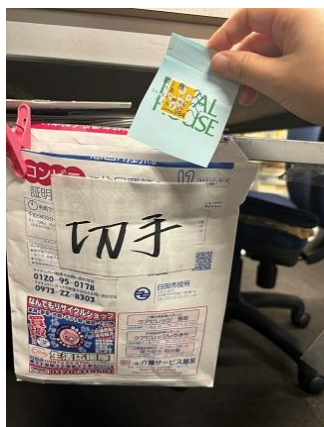
概ね全ての新築住宅において、断熱等級5以上の証明を取得しています。



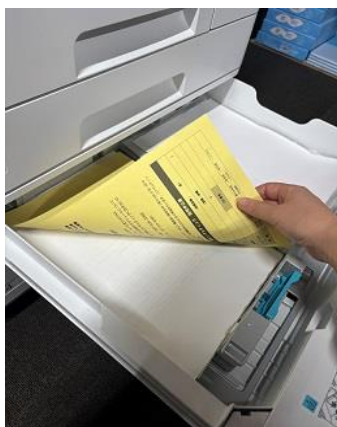
ガラス、木くず、廃プラスチック類等



⑥ エコ活動
使用済み切手の回収



裏紙利用



書き損じはがきの回収



⑦ ボランティア活動

献血活動への参加
年1回以上従業員で献血活動に参加しています。

